



動労千葉

1988.10.7
No2903

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

ストライキを駆使して反撃へ 第15回定期大会圧倒的成功かちとる

第十五回定期大会は、各代議員から断固たる決意、あるいは職場の切実な要求などがだされ、活発な討論が展開された。この討論ではっきりしたことは、「なにかやらなくてはならない。このままでは大変なことになる。」という危機感を全組合員が共通の認識としてあるということである。本部は、こうした組合員の危機感を最大限受けとめ、スト権確立に関する課題をはじめ、さまざまな問題にきめこまやかな対応をかちとり、全力で闘う。

当面の最大の問題は、①京葉線をめぐるとの問題、②天皇Xデーをめぐる問題、③十・二三三里塚現地闘争、④右翼労戦統一問題、⑤各支部大会の開催、⑥冬季物販闘争、⑦十一・三団結祭典などである。全組合員の総決起を訴える。



長田代議員（勝浦支部）組織の二割が営業へ強制配転させられているが、この攻撃を逆手にとり、幅広い闘いをアピールしよう。いろいろな職場で闘いの火のてを上げてやろう。ストライキによる当局の

動揺ははかりしれない。長期波状ストの継続をかちとり、原職復帰まで闘う。（関連発言、永島・清水代議員）



服部代議員（佐倉支部）「四・一」以降の東日本の攻撃は、将来貨物会社のもかけられるものとしてみている。動労千葉の一員として貨物支部も共に闘う。旅客との賃金格差は許せない。

本部答弁 布施書記長
①本大会で改めて通年のスト権を確立して、敵の出方しだいではストも辞さない。いづどこでも闘ってやるぞという構えが必要だ。②運転保安については、徹底的に調査を行い、異常時などの当局の対応について情報を收拾し、当局を追及する。運転保安の無視はみんなが危機感をもっている。スト権確立の最大の問題だ。われわれには「些細」なことで乗務停止を強行するが、当局は異常時に列車整理すらできない。労務対策を優先させ、仕事に責任をもつ奴がない。そうした責任を追及していく。③会社間の格差は、「分割・民営化」の結果である。個々の問題ではよいほうに合わせて要求するが、根本的には「分割・民営化」体制が問題だ。④医適の問題は、なぜひっかかったのか納得できない場合が多い。他の医療機関との結果も含めて当局につきつけ、「本人の希望」も尊重して対応する。⑤京葉線問題も重大。労務政策も問題だが、構内運転士を「運転士の資格もない」奴にやらせるなど合理化の面でも今後様々な問題を残す。「64・X」も見据え、ストも辞さない。⑥今日、動労千葉が闘い抜くことをとおして各地で反撃が始まっている。全力で闘おう！



訂正・日刊2902号で動労総連合新役員=執行委員・加納昭とありましたが、会計監査員・加納昭の間違いです。訂正致します。

以上の質疑のほかにも多くの代議員の発言がありましたが、紙面の都合で割愛させていただきました。

中村代議員（津田沼支部）京葉線は「運輸区」の形態をとるが運転士の業務は兼掌化されるのか？

押垂代議員（千葉支部）支部長に対する乗務停止攻撃は組合つぶしそのものだ。差別がありありとした狙い攻撃に屈服してはならない。

赤羽根代議員（館山支部）動労千葉の事業拡大を評価する。労戦統一は、動労千葉破壊攻撃だ。地区労下での支部の指導をいかにすべきか。動労千葉は、「統一」後どのように進むのか？

柴崎代議員（新小岩支部）業務増による土職の不足が予想されるが、五六、五七予科の登用は？

越川代議員（銚子支部）当局は、乗務不適格だからといって乗務から外し、またその乗務員を要員不足だからといってまた乗務をさせる。当局の勝手な政策を許さない。この間の闘いで一名の組合員の復帰をかちとった。

渡辺代議員（乗務員分科会）運転保安確立の闘いは最重要だ。異常時には組合員個々の闘いを強化しなければならぬ。当局は、自ら決めた規定すら無視してくる。自分を守るために規定を熟知しよう。営業で鉄道労連解体と動労千葉の強化をかちとろう。

齋藤代議員（木更津支部）木更津は、車務課長河野による異常なまでの職場規律攻撃に一人ひとりが頑張り抜いてこれをはねかえした。反合・運転保安確立の闘いの具体的な取り組みは？

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！